

“青森のみちの将来像”実現のため「地方道路交付金事業」による整備を推進していきます

青森のみちの将来像(H15.3)

青森の「みちの課題」

アクセスの向上を図る

青森・津軽・南部・下北の各生活圏間の移動時間の短縮

災害に強い道路

災害時の緊急活動を支え、代替性のあるネットワークを確保
道路・都市防災対策の推進
冬期交通の確保(車道・歩道)

渋滞対策

都市内の渋滞箇所、都市間を結ぶ道路での渋滞対策の検討

バリアフリー対策

高齢化社会に対応した歩道整備の拡充

青森の道づくり基本方針

交流促進と連携強化を支援するあおもりの道づくり

安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり

雪国あおもりの暮らしを支える道づくり

あおもりの自然と調和し活用する道づくり

都市機能の高度化を支援するあおもりの道づくり

限られた財源を有効に活用する道づくり

県民参加の道づくり

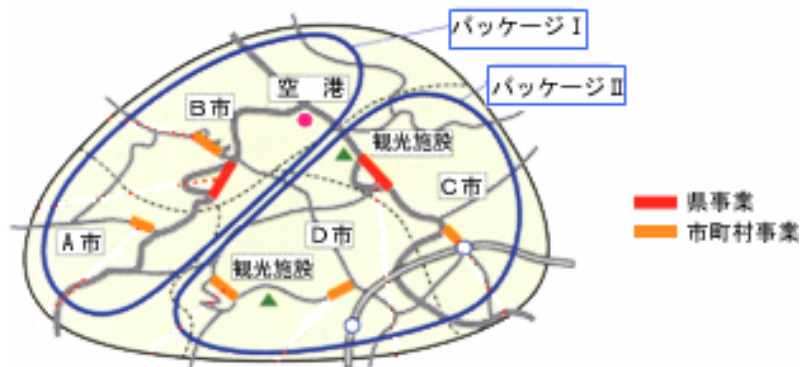
青森県の現状と課題、県民からの声や「青森の道づくり懇談会」の提言、青森の将来のビジョン（長期総合プラン）を踏まえて、「青森の道づくり基本方針」を策定しました。

道路行政が担う役割

県民の幸せを支える道づくり

地方道路交付金事業とは

地方道(県道や市町村道)の整備は、通常補助事業、地方道路交付金事業、地方単独事業により実施されていますが、地方道路交付金事業は、地域の身近な緊急の課題に対応する複数の事業(以下**パッケージ**と呼びます)に対して国が交付金を交付するものです。



目標達成型の仕組みを導入しました

道路を利用する皆さんがより利用しやすくなるよう、交付金で様々な道路整備を行います。あらかじめ目標を設定し、後にその達成状況を公表することとなりました。

～ 交付金を利用した4つのパッケージ～

地方道路交付金事業

三沢空港・新幹線
八戸駅を活かし、
下北・県南地域の
活性化を図る
道路整備

城下町弘前市と
周辺の豊かな地域条
件を活かし、交流促進
を図る道づくり

ねぶた祭りを中心とし
た広域観光を支援し、
北・東津軽地域の
くらしを支える
道路整備

雪国あおもりの暮らし
を支える道づくり

県民の幸せを支える道づくり

三沢空港・新幹線八戸駅を活かし、 下北・県南地域の活性化を図る道路整備

対象事業の目的:

三沢空港・新幹線八戸駅を起点とし、むつ小川原開発地域・八戸地区新産業都市地域へのアクセス整備、国際的観光地「十和田湖」、霊場恐山、仏ヶ浦等の下北地域の観光地へのアクセス整備など、下北・県南地域産業活性化を図るための道路整備です。

事業期間:平成16年度～平成19年度(4年間)

成果目標(アウトカム目標):三沢空港・八戸駅への30分到達圏の拡大

$$30分到達圏増加率=(算出時の30分到達圏面積 / H16現況の30分到達圏面積 - 1) \times 100$$

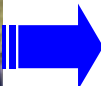
指標の現況値および目標値:	H16現況値	H17目標値	H19目標値
	0%	4.5%	24.7%

費用便益比: B / C = 3.9

代表事例 (八戸三沢線 張田工区)

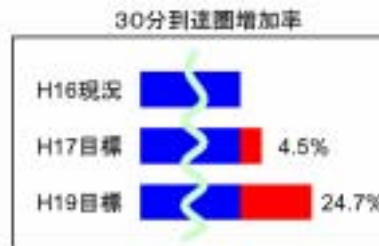


着工前:急勾配により渋滞



完成後(期工区):急勾配解消により渋滞緩和
現在 期工区実施中

30分到達圏:
三沢空港・八戸駅へ30分で行ける範囲



城下町弘前市と周辺の豊かな地域条件を活かし、 交流促進を図る道づくり

対象事業の目的:

城下町弘前市及び周辺の世界遺産白神山地、津軽国定公園岩木山・西海岸地域、黒石温泉郷・大鰐碓ヶ関温泉郷等を相互アクセスすることにより、豊かな自然条件を活かし、十和田湖から白神・西海岸地域へのネットワーク形成を図る道路整備です。

事業期間:平成16年度～平成19年度(4年間)

成果目標(アウトカム目標):弘前市との1時間交流圏の拡大

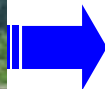
1時間交流圏増加率=(算出時の1時間到達圏面積 / H16現況の1時間到達圏面積 - 1) × 100

指標の現況値および目標値:	H16現況値	H17目標値	H19目標値
	0%	8.8%	19.5%

費用便益比: B / C = 1.8

アウトカムイメージ図

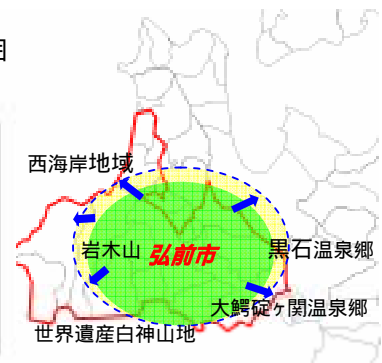
事例(岩崎西目屋弘前線 藤川～田代工区)



着工前:幅員狭小によりすれ違いが困難

完成後(国吉～湯口工区):幅員確保、急カーブ解消
現在、藤川～田代工区実施中

1時間交流圏:
弘前市から1時間で行ける範囲



弘前市から
1時間圏の拡大

ねぶた祭りを中心とした広域観光を支援し、 北・東津軽地域のくらしを支える道路整備

対象事業の目的:

青森市の「ねぶた祭り」を核とし、五所川原市の「立ねぶた」、津軽国定公園、浅虫夏泊半島県立自然公園等を結ぶ広域観光ネットワーク、津軽地域北部の地域間交流ネットワーク強化を図るための道路整備です。

事業期間:平成16年度～平成19年度(4年間)

成果目標(アウトカム目標):青森市との1時間交流圏の拡大

1時間交流圏増加率=(算出時の1時間到達圏面積 / H16現況の1時間到達圏面積 - 1) × 100

指標の現況値および目標値:	H16現況値	H17目標値	H19目標値
	0%	3.9%	14.8%

費用便益比: B / C = 2.1

事例(青森浪岡線 高田工区)

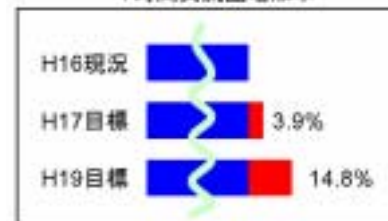


現道:急勾配、急カーブによる走行速度低下



バイパス工事実施中
(青森空港側より青森市内を望む)
H17完成予定

1時間交流圏:
青森市から1時間で行ける範囲
1時間交流圏増加率



アウトカムイメージ図



雪国あおもりの暮らしを支える道づくり

対象事業の目的:

冬期間において安全で快適な歩行者空間を確保し、冬期バリアフリー対策に資する消融雪施設の整備のほか、安全で円滑な冬期道路交通を確保するとともに、地域経済圏の連携強化を図るための堆雪幅の確保・防雪施設の整備です。

事業期間:平成16年度～平成19年度(4年間)

成果目標(アウトカム目標):雪道安全空間確保延長の増加

雪道安全空間確保延長増加率=(算出時の雪道安全空間確保延長 / H16現況の雪道安全空間確保延長 - 1) × 100

指標の現況値および目標値: H16現況値 0% H17目標値 10.1% H19目標値 16.7%

流雪溝

(着工前)
車と人が接近して非常に危険

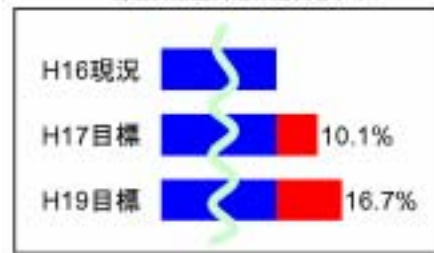


(完成後)

歩行者空間確保



雪道安全空間確保延長増加率



歩道融雪

(着工前)
雪が歩道を塞ぎ歩きにくい



(完成後)

冬期間でも快適歩行



防雪柵

(着工前)
地吹雪により視界が悪い



(完成後)

視界確保

